

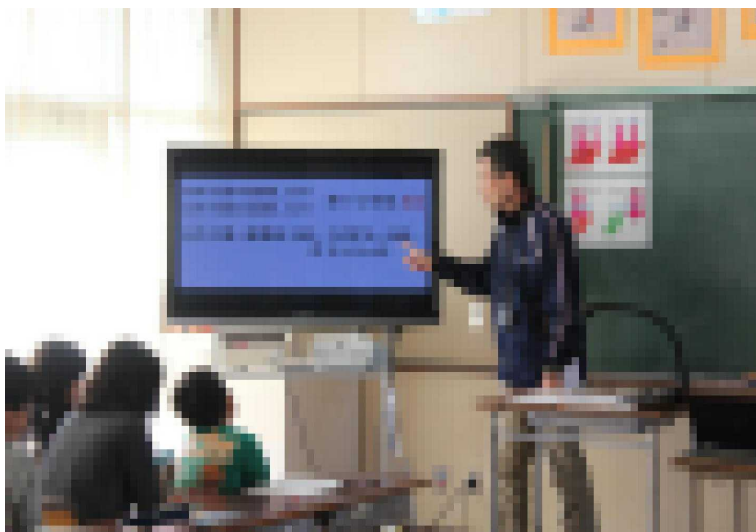
学びの実感・結

5年2組を借りて金子の授業「比べ方を考えよう(1)」

◇学習発表会の練習で忙しい中ですが、高学年部の先生方の協力もあり、少人数担当の私の授業実践を終えることができました。ありがとうございました。前時の前谷先生から渡されたバトンの重さ(重要性)をひしひしと感じながらの授業でした。今回は「混み具合」の第2時です。見取りの難しさ改めて感じました。

◎指導案検討会から

- ◆前時の復習では、プレゼンテーションを使って確認していきたいと思います。
 - 「1㎡あたり…」の考え方は、以後に学習する人口密度にもつながります。この解き方に絞って進めてみるのも手ですよね。
- ◆プレゼンテーションだと板書に残らないので、確認を進めながらプレゼンの画面を印刷したものを黒板に掲示していきたいです。
 - 黒板に掲示すれば、子供たちの思考の助けにもなるからよいと思います。
- ◆前時の流れを受けて、ペア学習ではなく、グループ学習で取り組む予定です。
- ◆アナウンスで引っ張っていきたいと思います。
 - 「子供が自由に考える内容」なのか「担任が教え込む内容」なのかをきちんと区別して、子供たちが迷わないようにしたいものですね。
- ◆グループで考えを交流した後に、「うちのGOOD JOB」として、代表1名に発表させる予定です。



◎研究授業にて

《自評》

- ◆前時の復習に時間がかかってしまった。長かったわりには、十分に伝わっていないと感じた。プレゼンテーションの画面と説明にはさらなる工夫が必要だと感じた。
- ◆プレゼンテーションで4つの方法を簡単に説明したが、解き方を唯一説明した公倍数にを求めて解決する方法に取り組む児童が多かった。わり算の立式も教えるべきだったのではないか。

- ◆いろいろな方向（問題解決のために様々な解決方法で問題に取り組んでいる）を向いている児童に対して、アナウンスで引っぱる難しさを感じた。
- ◆数直線から問題を解決している児童もいた。1あたりの求め方ができていた。
- ◆ペア学習時の説明の仕方を丁寧に話したつもりではあったが伝わらなかった。問題を解くことに集中していたのだろうと思う。
- ◆「うちのGOOD JOB」にこだわりすぎた。意図的指名に切り替えるべきであった。
- ◆バトンをうまくつなげなかった…。



《参観者》

- ・数直線の解き方の説明が不足しているように思えたが、よくあそこまで子供たちが解いたと思った。頑張っていた。
- ・わり算での解き方を丁寧に教えることはやはりダメだと思う。自力で考えさせたい。
- ・一単位時間で4つの解き方を指導するのは難しい。
- ・「こんでいる」を再度意識したり理解できたのは、プレゼンテーションの役目が大きかったと思う。
- ・思考はしっかりできていた。今回の試行錯誤をの時間はとても大切だったと思う。すぐに教えるよりも、どう解決するか迷う時間も大切ですね。
- ・アナウンスで「Dからやるといいね」はほしかった。AとBとCの順位は教えるという方法もあったと思います。



- ・「うちのGOOD JOB」あきらめて、意図的指名の方がよかった。
- ・とにかく「みとる」ことが大切だと思います。
- ・今後の方法として、無理にわり算を教えるのではなく、公倍数で押して行って、人口密度の時に「わり算の方が楽」と感じさせれば、「わり算の方が便利」と感じるかも。

◎お願い…

今年度も授業後に、「研究集録」ように①

A3指導案，②学習活動の実際A3，年度末に③今年度の振り返りの3点セット+プリント・カード類の準備しておいてください。

早めに提出して頂いてもかまいません。どうぞよろしくお願いいたします。

次回の研究授業は…

11月中	4年1組	齋藤学級	「面積のはかり方と表し方」
	4年2組	猪俣学級	「面積のはかり方と表し方」です。

時間が許す範囲で、無理せず、事前検討会・授業・事後検討会に参加しましょう。

- ★事前検討会 …後日連絡します。
- ★事後検討会 …後日連絡します。